

令和5年2月18日

「災害救護研究所セミナー」

～これからの日本の災害対応を考える～

災害ボランティア部門報告

「災害ボランティア部門における
令和4年度の活動と今後の方向性について」

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所
災害ボランティア部門 部門長 安江 一

1. 「令和4年度研究テーマ」

(テーマ)

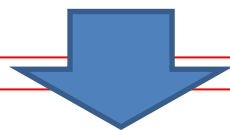
「災害時における

赤十字ボランティアの特徴を活かした活動と活動に必要な環境整備について」

(1) 第58回日本赤十字社医学会総会 (R4/10/6-7) における発表

①一般演題 (口演) 「災害ボランティア部門の現状と今後」

②企画・セッション (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所)
「日本赤十字社の災害救護活動を再考する」



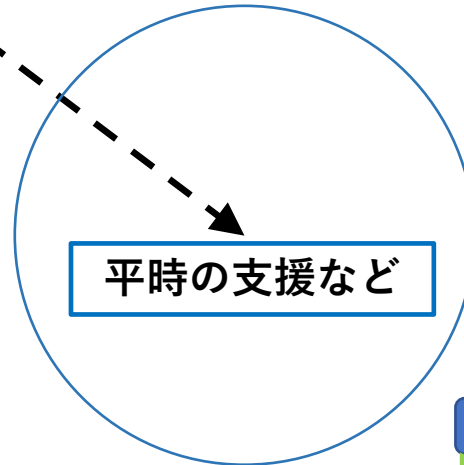
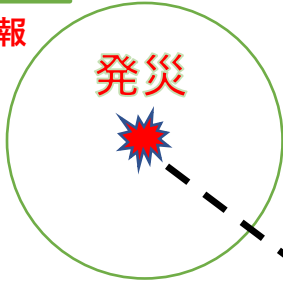
(2) 主な内容

①機能や支援者から、災害救護活動の領域を整理

②災害救護活動のコーディネーションの仕組みを整理

避難・救出

- ◇新たな避難情報
- ・高齢者等避難
- ・避難指示
- ・緊急安全確保

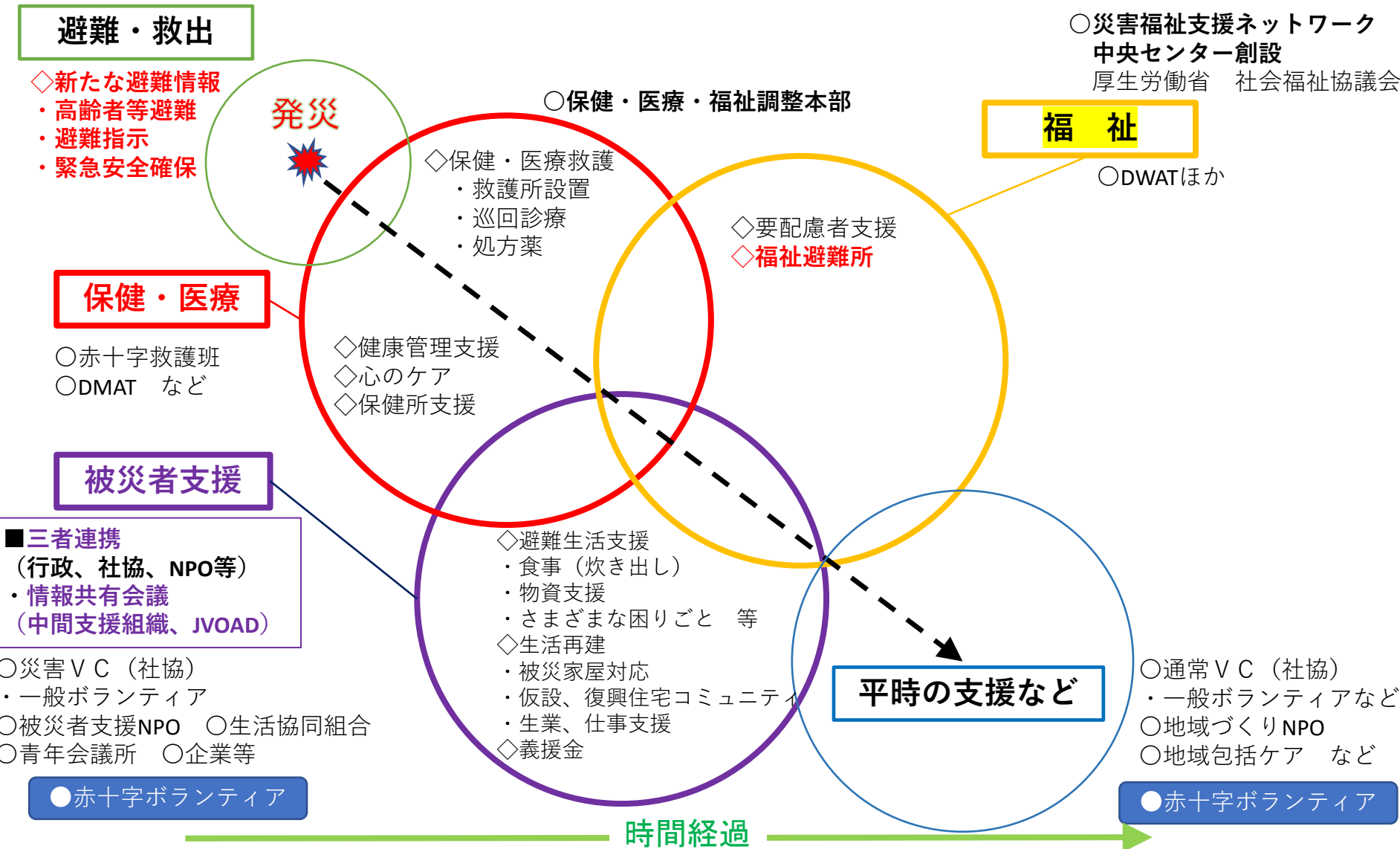


- 通常VC (社協)
- ・一般ボランティアなど
- 地域づくりNPO
- 地域包括ケア など

●赤十字ボランティア

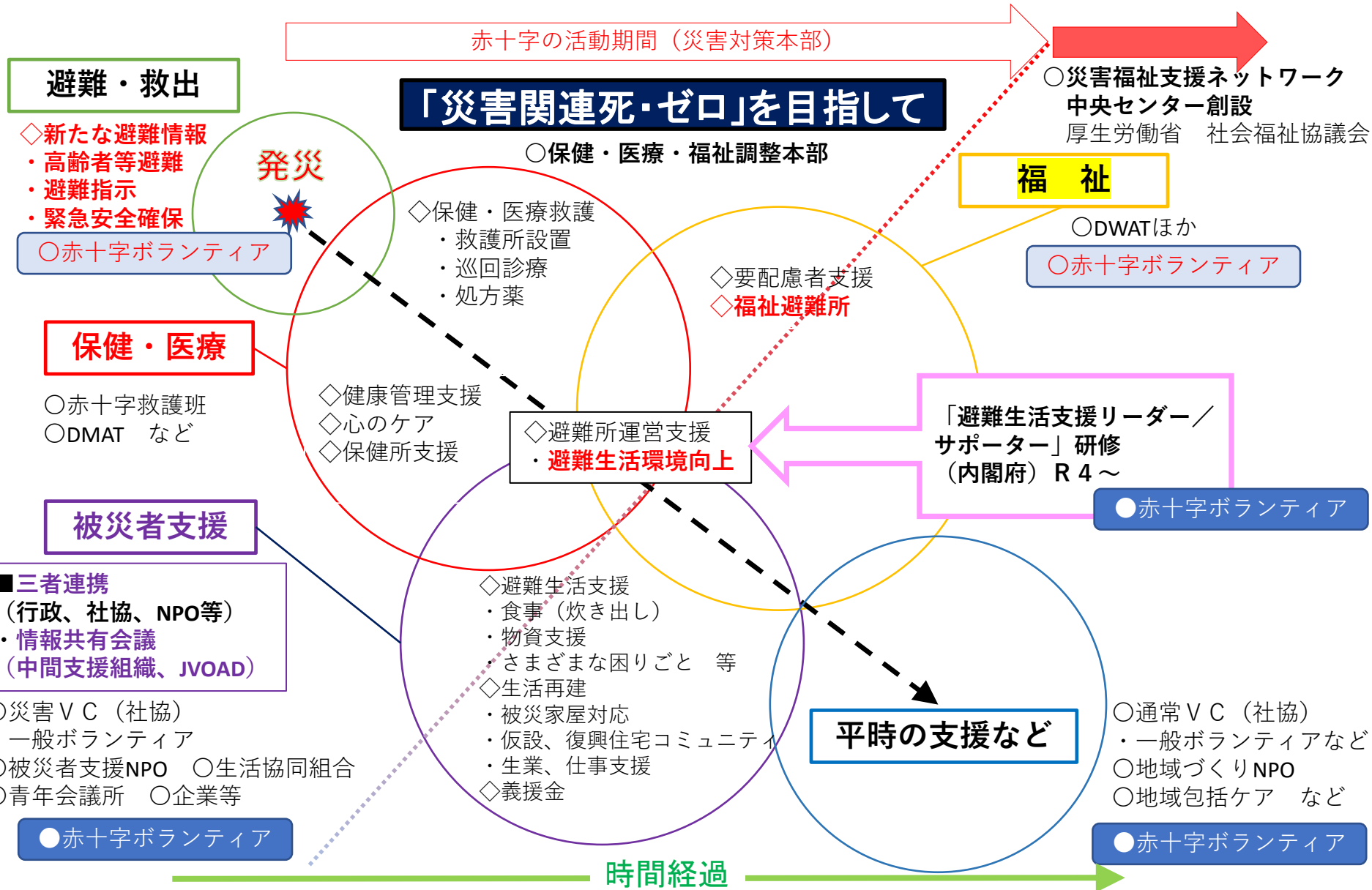
時間経過

「機能や支援者から、災害救護活動の領域を整理(日赤医学会発表)」



※「被災者支援」:主に制度による支援ではなく自発的な支援であって、避難生活や生活再建を支える活動

「機能や支援者から、災害救護活動の領域を整理(日赤医学会発表)」



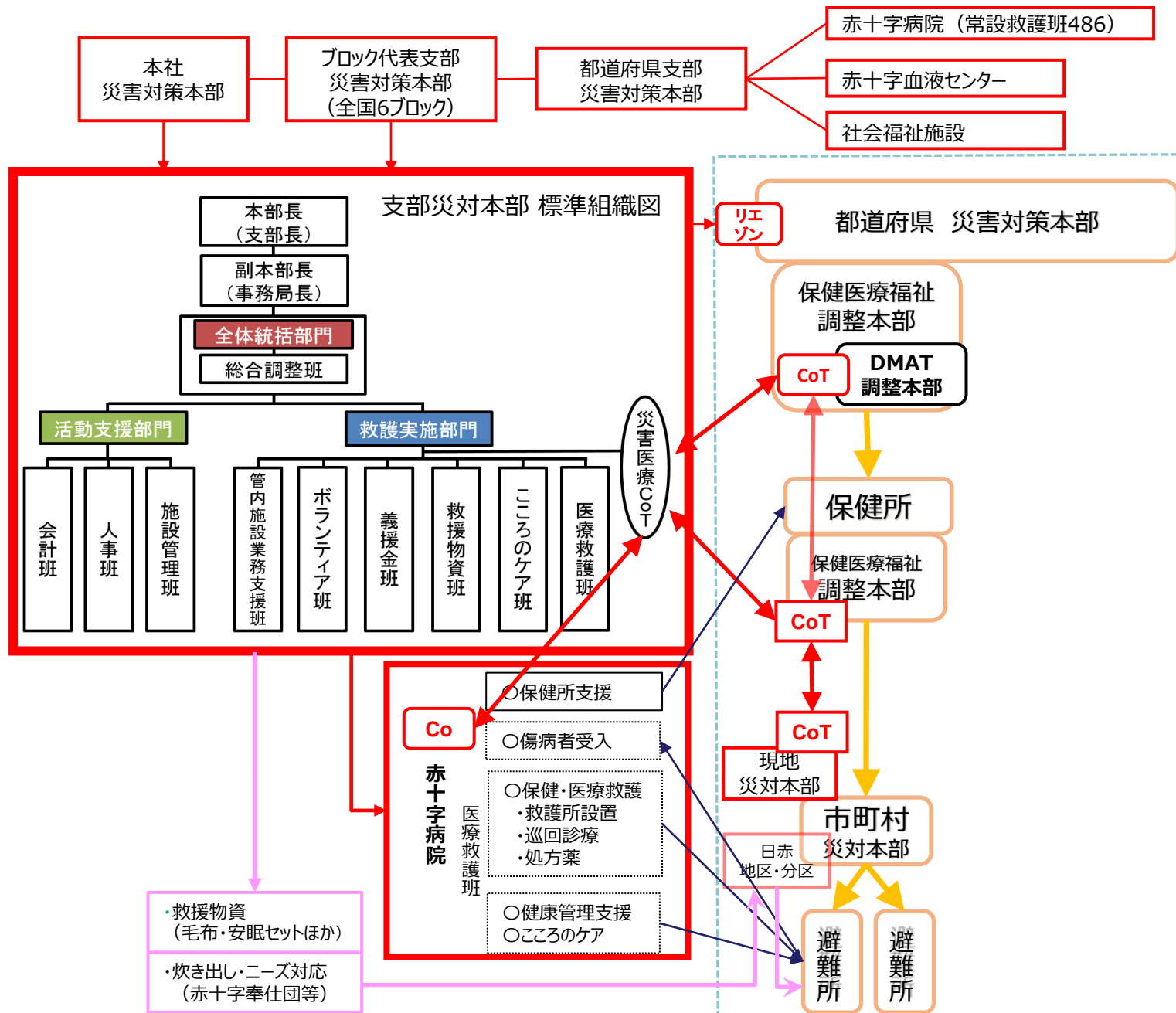
※「被災者支援」:主に制度による支援ではなく自発的な支援であって、避難生活や生活再建を支える活動

「災害救護活動のコーディネーションの仕組みを整理(日赤医学会発表)」

都道府県

二次医療圏

一次医療圏
市区町村

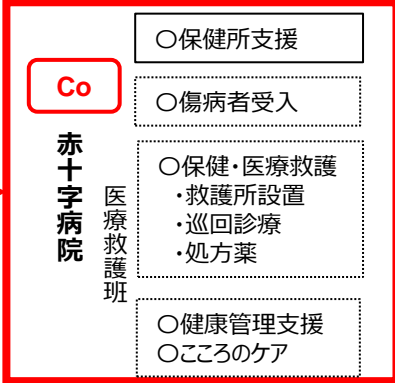
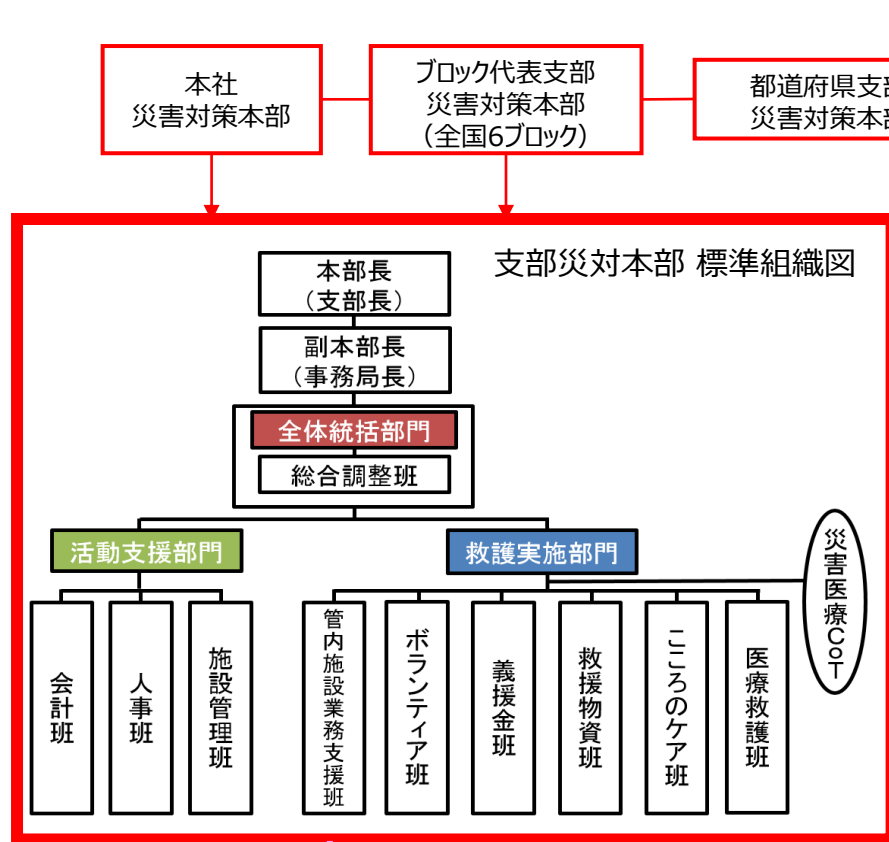


「災害救護活動のコーディネーションの仕組みを整理(日赤医学会発表)」

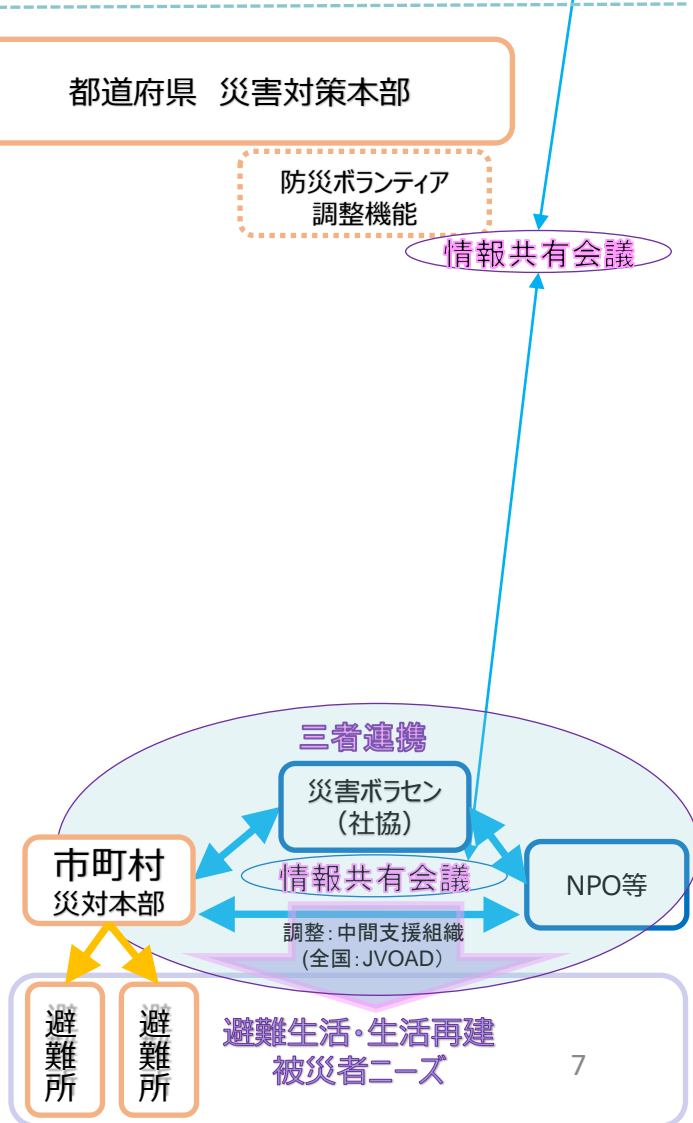
都道府県

二次医療圏

一次医療圏
市区町村



- ・救援物資 (毛布・安眠セットほか)
- ・炊き出し・ニーズ対応 (赤十字奉仕団等)

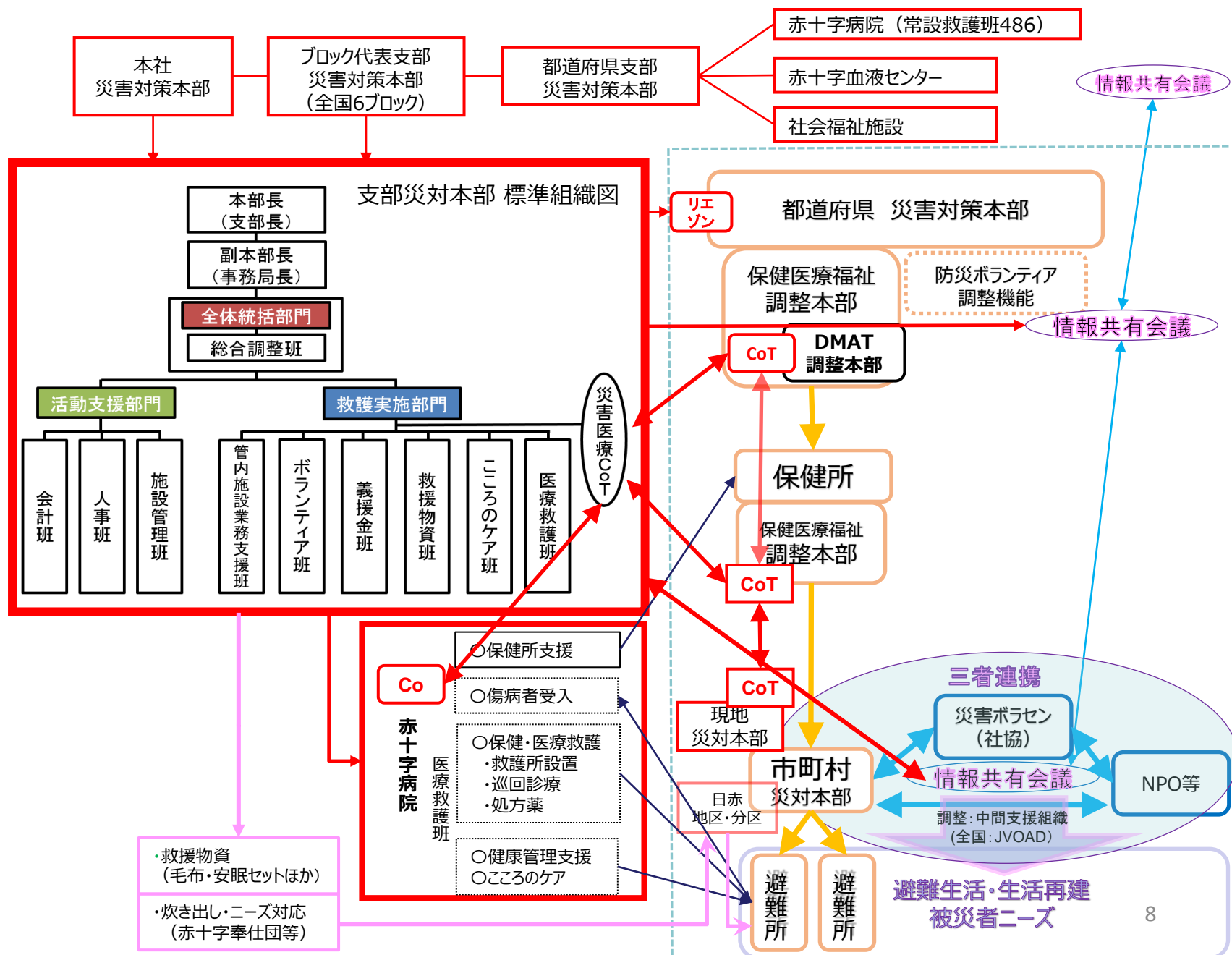


「災害救護活動のコーディネーションの仕組みを整理(日赤医学会発表)」

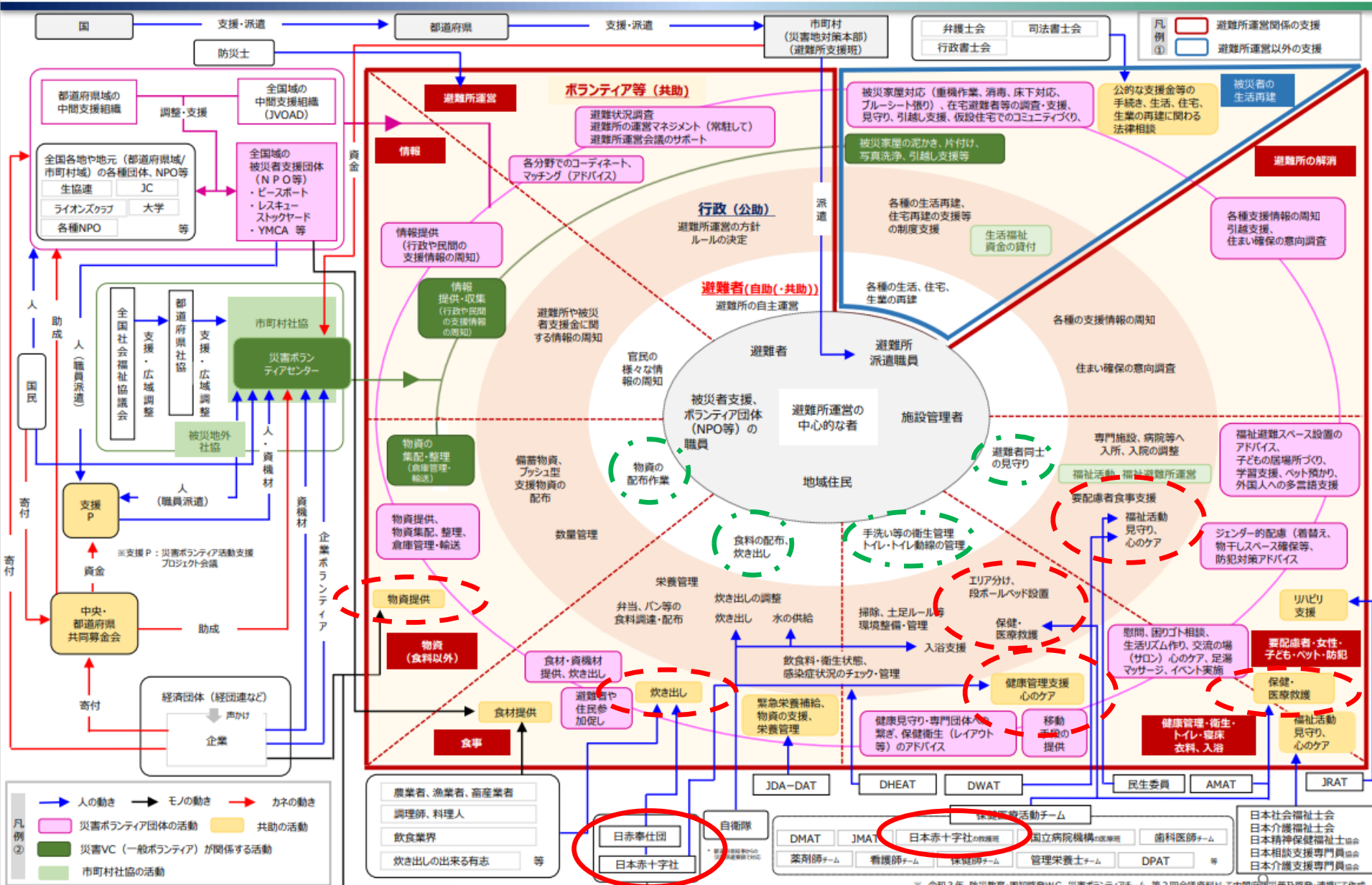
都道府県

二次医療圏

一次医療圏
市区町村



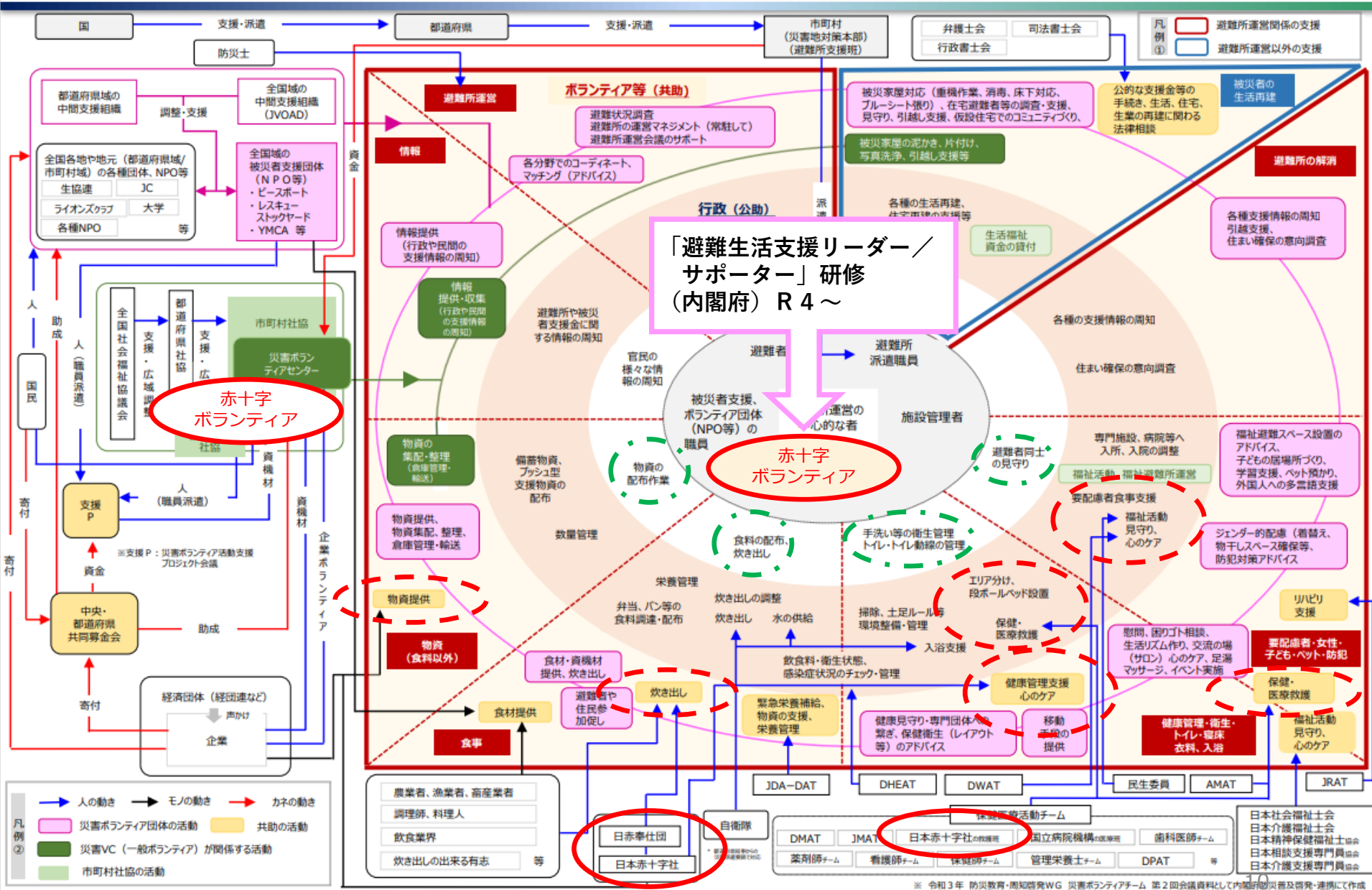
避難所運営に関係するボランティア等の支援者等の関係図



※ 令和3年 防災教育・周知啓発WG 災害ボランティアチーム 第2回会議資料として内閣府防災啓発・連携にて作成

参考（内閣府：「防災教育・周知啓発ワーキンググループ災害ボランティアチーム提言」より

避難所運営に係るボランティア等の支援者等の関係図



※ 令和3年 防災教育・周知啓発WG 災害ボランティアチーム 第2回会議資料として内閣府防災啓発・連携にて作成

2. 「令和5年度研究テーマ」

(テーマ)

「赤十字ボランティアの被災者支援活動のコーディネーションモデルの構築」

(1) 令和5年度の主な内容

- ①「避難・救出」「福祉」領域における赤十字ボランティアの活動の可能性の検討
- ②「被災者支援」領域における赤十字ボランティアの活動メニューの提案
- ③「被災者支援」領域における赤十字ボランティアのノウハウの見える化
- ④他団体と連携した「被災者支援」領域への支援・参加に必要な環境整備



(2) 中長期的な目標


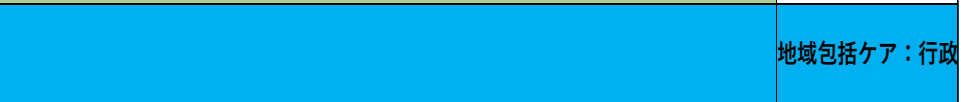
「被災者を中心とした赤十字ボランティア等の活動による
被災者支援と、保健・医療・福祉等との連携モデルの構築」
(日赤型モデル/中期支援モデル＝生活モデル)



(3) 研究所中長期的な目標

「災害発生から中長期にわたる包括的災害支援モデル」(日赤型モデル)の構築

災害発生から中長期にわたる包括的災害支援モデルの構築—日赤型モデルの構築—

	平常時	直後	24時間	72時間	1-3日	1週間	3週間	1か月	2か月	3ヶ月	半年	1年	2年	3年	4年	5年	6年以降
		急性期支援					中期支援						長期支援				
急性期支援モデル (医療モデル)	災害発生時 時の体制 対応と その教育	DMA T+各支部・全国の赤十字チーム 研究1：災害支援マニュアル 研究2：災害時テントの開発 研究5：災害時のICS導入を目指す 基礎研究 研究6：被災地における日赤医療活動の感染 対策能力強化に関する研究 研究8：災害時の外部給電車車両の利活用 モデル構築															
中期支援モデル (生活モデル)	防災・減災 への取り組 み	健康支援チーム：医師+看護職、新離職もしくは看護職+新離職 研究3：災害時の心理社会的支援モデル 研究4：中長期の看護支援モデル 研究6：被災地における日赤医療活動の感染対策能力強化に関する研究					生活復興支援チーム：看護職、介護職、ソーシャルワーカー、ボランティア、日赤+行政 研究7：災害ボランティアに関する基礎的研究										
長期支援モデル (社会モデル)	地域での 防災・減災	生活支援+健康支援：看護職、介護職、新離職、日赤+行政 社会支援															
地域への復興																	

地域包括ケア：行政

災害発生から中長期にわたる包括的災害支援モデル

(医療＋生活＋社会 モデル) の構築

= 日赤型モデルの構築 =

ご清聴ありがとうございました。

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所
災害ボランティア部門
部 門 長 安江 一
専任研究員 土居 正明